

やまがた創生 プロジェクト研究



新たな価値創造を、山形市から

参加企業等募集

山形市の経済の活性化及び創造都市の推進に資する
新規事業を構想し、「持続的発展が可能な希望ある
まちづくり」を目指す。

2022年5月開講 募集要項

やまがた創生プロジェクト研究



持続可能な経営のためには、新事業の創出やビジネスモデルの変革が不可欠となっています。気候変動やデジタル技術の革新など社会が大きく変容するなか、社会を見据え、多様化する顧客ニーズに合わせた新たな価値創造が求められます。

やまがた創生プロジェクト研究では、

- ・山形市の経済活性化及び創造都市の推進に資する、自社の新規事業を構想します。
- ・事業の根本からアイデアを発想し、理想となる事業構想を構築します。
- ・SDGsやDXなど最先端分野の有識者から得られる知見とともに社会変化を洞察し、新たな顧客価値を創造します。
- ・異業種の企業やパートナーとの知の共有・探索や、コラボレーションによる事業創出活動を実現します。
- ・10か月間（2022年5月～2023年2月）の研究会を通じて気づける素養を磨き、価値創造を担う人材を育成します。



佐藤孝弘市長

山形市では、「山形市発展計画2025」で掲げる「持続的発展が可能な希望あるまちづくり」の実現に向けて、地域経済の活性化や創造都市の推進等の重点施策に取り組んでおります。変化のスピードが激しい不確実で複雑な時代を乗り越え、企業や社会が持続的に発展していくには、地域課題を踏まえた新規事業の創出や、それを担う中核人材の育成が不可欠です。組織の垣根を越えて共に学び、それぞれのフィールドでの新規事業創出を推進していくため、このたび、事業構想大学院大学と連携し「やまがた創生プロジェクト研究」を実施いたします。山形市の未来を創る皆様のご応募をお待ちしております。

やまがた創生プロジェクト研究の概要と特徴

やまがた創生プロジェクト研究の全体概要

新事業の開発を行う10か月間の研究会

本研究会は、事業構想大学院の事業構想修士課程のカリキュラムのエッセンスを活かし、テーマに基づき、研究参加者の新たな事業構想と構想計画構築を行う10か月間の研究会です。

1人の担当教授と10人の研究員

研究会は、原則10人の研究員で構成されます。1人の担当教授が本研究期間を通してコーディネートとファシリテーションを行いながら、研究員の知見を高めながら推進していきます。

10か月間で20回開催

定例の研究会は、10か月間で20回開催。多彩なゲスト講師を招き、研究員の視野を広め視点を磨きながら、研究員各自の新事業創出を支援していきます。

「研究員」という資格を付与

プロジェクト参加者は、事業構想大学院大学附属の事業構想研究所 研究員の資格が付与され、大学院の知やネットワーク、施設を活用できます。研究員は非常勤（雇用関係なし）で、日常の仕事に就きながら、研究会に参加します。



本プロジェクトのカリキュラムとして、事業構想計画をアウトプットとした、発・着・想、構想案、シミュレーション、リサーチ、計画、投資側とのコミットメントなどをプロセスとして研究しながら、研究員（参画する企業）の計画する新事業の実現性をともに画策していきます。研究員である皆様と、事業構想ノウハウを持った教授陣・研究の第一人者をゲスト講師として招聘し、三位一体となってプロジェクトを1年間執り行います。



やまがた創生プロジェクト研究の概要と特徴

やまがた創生プロジェクト研究 4つの特徴

1：イノベーションを体系化した唯一のプログラム

新事業の開発を目的とした日本で唯一の大学、事業構想大学院大学の教授陣が、イノベーションに関する豊富な知識や方法を提供し、事業評価や計画を精緻に策定します。

2：経営資源を活かし、実践的な事業を構想

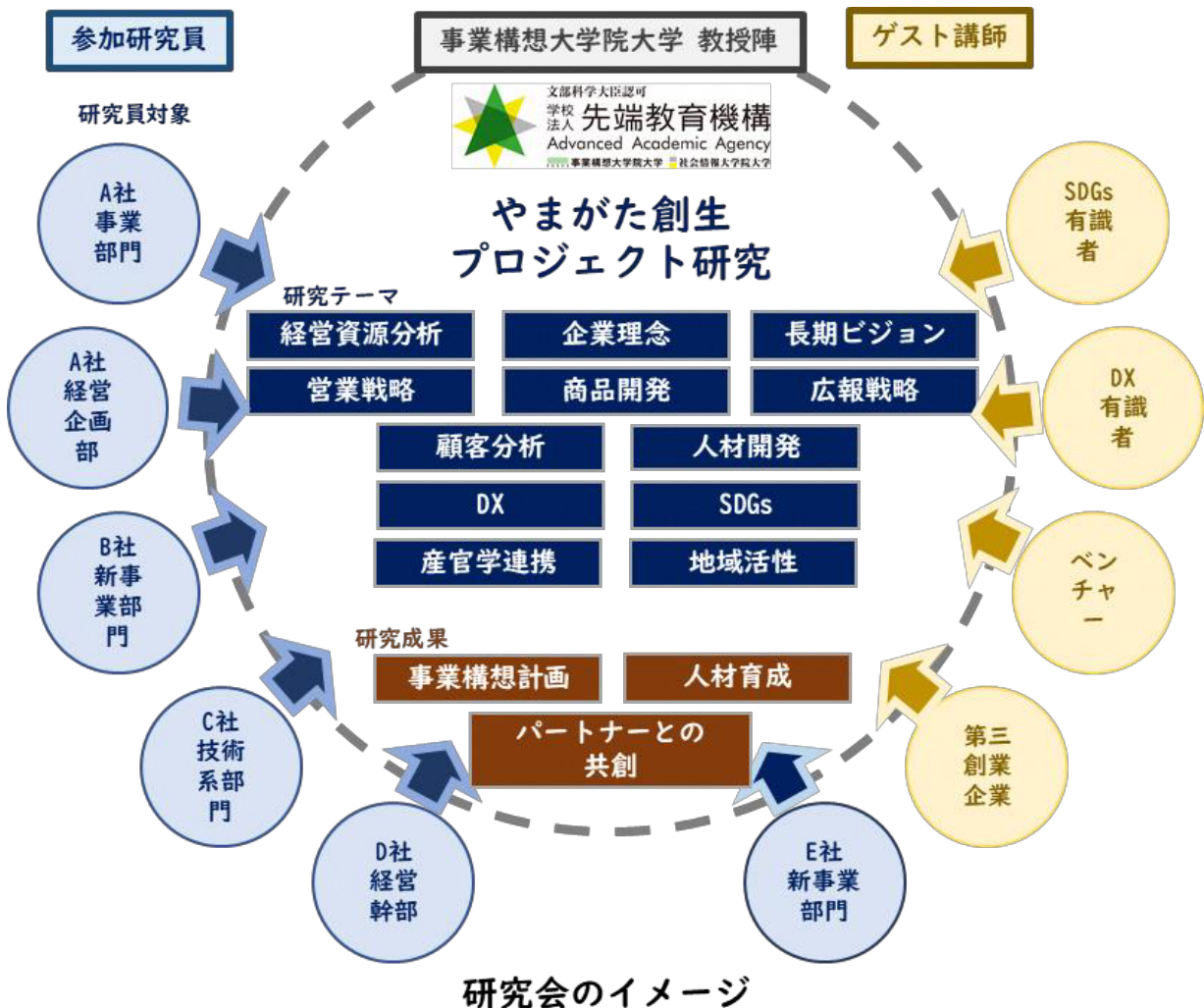
顧客開発など構想計画も、経営資源を活用した実現性が高く独自性の強いものを構築します。

3：最先端分野の有識者、第一人者とのネットワーク

本学がネットワークを有する、SDGsやDXなどの最先端分野における第一人者（官公庁・有識者・実践者・学者・起業家）から、ゲスト講師を招聘し、イノベーション支援を行います。

4：異業種との共創

研究会は異業種の研究員で構成されます。自社の業界領域を超えた、新たな価値創造を加速します。



やまがた新事業プロジェクト研究の概要と特徴

最先端分野での幅広いネットワーク

事業構想大学院大学は出版部門を有しており、SDGsやDXなどの分野における最新事例・第一人者（官公庁・有識者・実践者）とのネットワークを構築しています。本プロジェクト研究において、各分野の本質を理解しながら、新たな事業の開発につなげることを目指します。



プロジェクト研究員の特徴

1. 担当教員や本学教員への個別相談
2. 事業構想大学院大学主催「事業構想スピーチ」への参加（年間約40回以上開催）
3. 図書館、サロンの利用
4. 電子書籍、オンラインデータベースの利活用
5. アーカイブ視聴
6. メディア利活用
7. 名刺、研究員証貸与

※このほか、本学が主催するセミナー・フォーラム・企画展などのイベントに参加できます。

サポート体制

●多彩な人的ネットワークの構築支援

専門家や自治体、官僚などをゲスト講師としてプロジェクト研究に招聘し、イノベーションに必要なインプットを行います。また、年間約40回、事業構想大学院大学院生を対象に行っている、多様な分野のスペシャリストをお招きして実施する事業構想スピーチへもご招待いたします。

さらに、事業構想大学院大学の教授陣による個別フィードバックや、研究員同士が議論を重ねる中で、外部の専門的な視点を取り入れながら、各社/各自の事業構想計画をブラッシュアップすることができます。

●フィールド・リサーチができる「研究員」としての資格を付与

社会課題をイノベーションを通じて解決する「研究員」としての資格を付与します。社会的に中立な研究員という立場として、ヒアリングやフィールドリサーチを行い、ネットワークを構築することができます。

●メディア・プロモーション支援

優れた成果は月刊事業構想をはじめメディア掲載し、プロモーションを支援します。

プロジェクト研究や大学院カリキュラムを活かした構成で、定例研究会を中心に個別指導を受けながら、各研究員が自社の事業構想計画を策定します。

事業構想計画書作成

- ・ 各研究員が、1点以上策定する。
- ・ 「山形市の地域経済の活性化及び創造都市の推進」というテーマを踏まえて、自社の計画書を作成する。
- ・ 構想計画には下記の項目が入っていることを推奨する。

1. 基本構想

概要、社会的背景、自社の新たな知財、基本的な事業構造

2. プロダクト開発構想

コンセプト／市場性／価格戦略／製造・仕入れ構想／ブランド戦略／差異化／フィールドリサーチ（顧客インサイト分析）

3. 営業、販売構想計画

販売構想（チャンネル・販促）／普及・維持構想／フィールドリサーチ

4. 事業組織構想

組織・人事構想

5. 資金構想計画

概算資金計画

6. マーケティング・コミュニケーション戦略

プロモーション戦略／広告・広報戦略／コミュニケーション戦略

7. 想定される障害と対策

8. スケジュール

募集概要

プロジェクト期間

全20回、実施期間：2022年5月～2023年2月 各回半日程度（詳細は別ページ参照）

募集人数

7名程度

- ※募集人数を超えるお申込みがあった場合には、選考とさせていただきます。
- ※選考の結果は、参加可否問わず、5月6日（金）までにご連絡いたします。
- ※選考後の参加辞退はご遠慮くださいますよう、お願い申し上げます。
- ※募集人数のほか、山形市職員が3名程度参加し、10名の研究会となります。

会場

山形市内会場＋オンライン＋事業構想大学院大学 東京校（詳細は別ページ参照）

対象

- ・ 自社の経営資源や自身の技術を活用して、山形市の経済活性化及び創造都市の推進に資する新事業の創出を目指す企業等
- ・ 新分野展開や、新たな収益の仕組みづくりを検討している企業等

- ※業種や企業規模は問いません。個人事業主も可能です。
- ※研究期間を通して9割以上の日程に出席できる方が参加可能です。
- ※各社からの参加は、1名程度（役職不問）としてください。

研究員として参加いただく方のイメージ

- ・ 人脈や技術など、自社の経営資源を再定義し新事業を創出したい方
- ・ 今後、社内の中核となっていく幹部候補の方
- ・ 山形市をよりよくしたいという熱い想いを持っている方 など

申し込み期限

締め切り：2022年4月22日（金） 申込書類必着

申し込み書類

申込書、個人調書

申し込み方法

申し込み書類一式を、以下担当宛に電子メールにて提出

【送付先】学校法人先端教育機構 事業構想大学院大学 事業構想研究所
「やまがた創生プロジェクト研究」担当宛
メールアドレス：pjlab@mpd.ac.jp

研究参加費

無料

共催

山形市・学校法人先端教育機構 事業構想大学院大学 事業構想研究所



河村 昌美

(かわむらまさみ)

事業構想大学院大学 事業構想研究所 教授

大学卒業後に横浜市役所入庁。福祉、広報、教育部門を経て、2004年にアントレプレナーシップ事業（庁内起業家制度、当時）により、日本初の「広告・ネーミングライツ事業（民間による行政資産の有効活用推進事業）」に関する新規事業部門を設立及び推進。現在全国の地方自治体で広く取組まれている同事業のスタンダードとなるビジネスモデルを構築。その後、2008年に新設された共創推進事業本部（現:政策局共創推進室）の設立メンバーとして、設立当初から2021年3月まで所属。社会・地域課題解決に資する公民共創（産官学連携）を専門として、数百件の様々な分野にわたる企業と行政のマッチング、コーディネート、コンサルティング、連携案件形成に携わる。

2019年からは、事業構想大学院大学事業構想研究所客員教授として、全国の自治体や企業を対象に公民共創や地域活性化・地方創生、SDGsなどに関する新規事業構想プロジェクト研究を担当。2021年4月から現職。

その他、全国での国・地方自治体や大学、学会、セミナーなどにおいて公民共創に関するアドバイザー、講師を多数担当。法務博士（専門職）。

執筆記事

産官学共創のキーファクター「SDGsから考える地域活性 横浜市の共創によるオープンイノベーション」（月刊事業構想2019年5月号）

横浜市の共創事業「対話」でオープンイノベーションを加速（月刊事業構想2019年6月号）

共創によるイノベーション 横浜市の方法論とビジョンとは（月刊事業構想2019年7月号）

農業と地域交通をテーマに設定 小諸市におけるプロジェクト研究（月刊事業構想2022年2月号）

主な著書・共著

横浜市広告事業推進担当（共著）『財源は自ら稼ぐ!—横浜市広告事業のチャレンジ』（ぎょうせい、2006年）

河村昌美・中川悦宏『公民共創の教科書』（事業構想大学院大学出版部、2020年）

やまがた創生プロジェクト研究 カリキュラム

日程：2021年5月～2022年3月

講師：河村昌美

会場：下記参照（山形市内会場の詳細は、参加確定後にご案内いたします）

| 回 | 日時 | | クール目標 | 講義テーマ | 会場 |
|----|------------|-------------------|------------------------------|---|------------------|
| 1 | 2022/5/24 | 13時00分— 17時00分 | 第1クール 事業構想の アイデア創造 | <ul style="list-style-type: none"> ▷井上副市長講話（30分間） ▷オリエンテーション ▷事業構想概論 | 山形市内会場 |
| 2 | 2022/6/7 | 13時00分— 17時00分 | | ▷社会・地域課題からの発着想 | オンライン |
| 3 | 2022/6/21 | 13時00分— 17時00分 | | ▷クリエイティブ発想法① | オンライン |
| 4 | 2022/7/5 | 13時00分— 17時00分 | | ▷クリエイティブ発想法② | オンライン |
| 5 | 2022/7/19 | 13時00分— 17時00分 | 第2クール 事業構想案策定 | <ul style="list-style-type: none"> ▷事業アイデア発表・討議 ▷事業構想の基礎① | 山形市内会場 |
| 6 | 2022/7/20 | 9時00分— 13時00分 | | <ul style="list-style-type: none"> ▷バリュープロポジション発表・討議 ▷事業構想の基礎② | 山形市内会場 |
| 7 | 2022/8/2 | 13時00分— 17時00分 | | <ul style="list-style-type: none"> ▷バリュープロポジション発表・討議 ▷事業構想の基礎③ | 個別オンライン ※集合なし |
| 8 | 2022/8/17 | 13時00分— 17時00分 | | <ul style="list-style-type: none"> ▷ビジネスモデル発表・討議 ▷事業構想案策定に向けて | 山形市内会場 |
| 9 | 2022/8/30 | 13時00分— 17時00分 | | <ul style="list-style-type: none"> ▷事業構想事例研究① ▷公民共創の知識 | オンライン |
| 10 | 2022/9/13 | 10時00分— 17時00分 | | ▷中間発表①（発表と討議） | 山形市内会場 |
| 11 | 2022/9/27 | 13時00分— 17時00分 | 第3クール 事業構想計画に 必要な知識と実践 | ▷構想計画策定に向けて | オンライン |
| 12 | 2022/10/11 | 13時00分— 17時00分 | | ▷マーケティング | 東京校 |
| 13 | 2022/10/25 | 13時00分— 17時00分 | | ▷ファイナンス、収支計画等 | 個別オンライン ※集合なし |
| 14 | 2022/11/8 | 10時00分— 17時00分 | | ▷中間発表②（発表と討議） | 山形市内会場 |
| 15 | 2022/11/22 | 13時00分— 17時00分 | 第4クール 事業構想計画書 策定 | ▷事業構想計画策定の基礎 | オンライン |
| 16 | 2022/12/6 | 13時00分— 17時00分 | | ▷構想計画の構築①（発表と討議） | 山形市内会場 |
| 17 | 2022/12/20 | 13時00分— 17時00分 | | ▷事業構想事例研究② | オンライン |
| 18 | 2023/1/17 | 13時00分— 17時00分 | | ▷構想計画の構築②（発表と討議） | オンライン |
| 19 | 2023/1/31 | 13時00分— 17時00分 | | ▷構想計画の構築③（発表と討議） | オンライン |
| 20 | 2023/2/14 | 10時00分— 17時00分 | | ▷最終発表 | 山形市内会場 |

※ 上記は予定であり、内容やスケジュールは変更になる場合があります。

※ 研究員の事業構想計画の内容や進捗によっても、担当教員等の判断により講義内容を変更する場合があります。

※ 上記日程に関わらず、担当教員による個別指導を受けることが可能です。

事業構想スピーチ（任意参加）

- 毎週、水曜日の19時から21時に2時間のスピーチを実施(年間約40回)
- 各界を代表するキーパーソンから、最先端ビジネスモデル・社会モデルを学び「発・着・想」を得て、事業構想構築に活かします。

革新経営者

創業経営者

新規事業責任者

ネットビジネス
リーダー

都市計画・建築家

最先端分野研究者

最先端企業経営者

地域活性 実践者

社会起業家

クリエイター

哲学者

ブランド
マネージャー

過去の登壇例



藤田 晋

サイバーエージェント
代表取締役社長



おち まさと

プロデューサー



増田 宗昭

カルチュア・コンビニエンス
・クラブ
代表取締役社長



角 和夫

阪急阪神ホールディングス
代表取締役会長



コシノ ジュンコ

ファッションデザイナー



笹本 裕

Twitter Japan
代表取締役



谷田 千里

タニタ
代表取締役社長



出雲 充

ユーグレナ
代表取締役社長



長谷部 健

渋谷区長



渡部 一文

アマゾンジャパン
バイスプレジデント

事業構想大学院大学事業構想研究所の研究員

下記の通り、事業構想大学院大学事業構想研究所のプロジェクト研究員の立場が付与されます。

◎研究員証



◎名刺



◎個別相談



◎事業構想スピーチ（年40回開催）



◎研究修了証



◎オンラインデータベース・アーカイブの活用



◎大学院環境（図書館・サロン）の活用



- ・履歴書に研究員の経歴が記載可能。また、プロジェクト終了後には、研究報告書作成など規定要件を満たせば研究修了証を授与。
- ・名刺、身分証の発行・貸与。
- ・大学院主催年約40回の「事業構想スピーチ」への参加。
- ・図書室やサロンなどの施設の活用。
- ・オンラインデータベースの利用。
- ・アーカイブ視聴。
- ・希望により学会発表、メディア掲載申請が可能。
- ・担当教授に随時相談可能

個人情報の取り扱いについて

本学が申込書類を通じて取得する個人情報は、①研究員選考、②合格者発表、③参加手続き、④本学からのお知らせ、⑤これらに付随する業務を行う目的のみに、事務局および担当教員が利用いたします。

問い合わせ先

申込やカリキュラムに関すること

学校法人先端教育機構

事業構想大学院大学 事業構想研究所

担当：田中

〒107-8550 東京都港区南青山3-13-18

TEL: 03-6278-9031 FAX: 03-3478-8410

E-mail: pjlab@mpd.ac.jp

プロジェクト研究事業に関すること

山形市商工観光部雇用創出課

担当：澤田・大場

〒990-8540 山形市旅籠町2-3-25

TEL: 023-641-1212(内線416) FAX: 023-616-3535

E-mail: koyou@city.yamagata-yamagata.lg.jp



山形市



学校法人 先端教育機構

事業構想大学院大学 事業構想研究所